

平成 27 年第 6 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12 月 8 日（9 日・10 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	澤野 伸 （誠颯会）	<p>1. <u>本市の空き家対策及び空き家の利活用の取り組みは</u>（市民部長・企画部長・建設部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」では、各自治体に空き家の実態調査、空き家等対策計画の策定、空き家及びその跡地の活用、データベースの整備等を行うこととなっている。本市の今後の施策展開は</p>
2	富田 牧子 （日本共産党 可児市議団）	<p>1. <u>K マネーでボランティアの拡大がはかれるのか</u>（市民部長・健康福祉部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>昨年度から始まった支え愛地域づくり事業（K マネー事業）は、3 年間のモデル事業だったが、可児市総合戦略では、31 年度に向けて大きく発展させていく計画となった。その概要とボランティアの養成について聞く。</p> <p>2. <u>障害者差別解消法実施を前に</u>（健康福祉部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>来年 4 月から施行される障害者差別解消法に対して、各自治体では基本方針や要領を作ることになっているので、その進捗状況を聞く。また、コミュニケーション支援事業と施設整備事業の進展についても尋ねる。</p> <p>3. <u>介護報酬の引き下げが介護の崩壊を生む</u>（健康福祉部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>本年 4 月からの第 6 期介護保険事業計画では、数多くの改悪がなされた。とりわけ介護事業所に支払われる介護報酬の大幅削減によって、撤退や縮小に追い込まれる事業所も出てきている。市内の状況を聞く。</p>
3	大平 伸二 （新輝クラブ）	<p>1. <u>木曽川左岸遊歩道への本市の取り組みや今後の方針を問う。</u>（観光経済部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>本市、計画ルートの一部で木曽川左岸遊歩道は、友の会、漁協の皆さんで整備されつつあります、かわまちづくりの拠点でもある遊歩道の今後について本市の基本コンセプトや方針を問う。</p>
4	野呂 和久 （可児市議会 公明党）	<p>1. <u>学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置について</u>（教育長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>コミュニティ・スクールは、2004 年の地方教育行政法の改正により制度化された。文部科学省の発表によると、44 都道府県内で学校運営協議会が設置され、全国的な拡がりを見せている。本市の設置の考えを問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	伊藤 壽 (誠颯会)	<p>1. <u>新市建設計画について</u> (企画部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>可児市と兼山町の合併により新市を建設していくために策定された新市建設計画「新可児市まちづくりビジョン」の計画期間が終了するが、延長することで策定が進められている。計画期間延長の必要性などについて問う。</p>
6	川上 文浩 (誠颯会)	<p>1. <u>可児市総合戦略について</u> (観光経済部長・建設部長・教育長・健康福祉部長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>本年10月可児市人口ビジョン、総合戦略が策定された。人口減少に歯止めをかけることを目的に策定された総合戦略を具体的にどのように進めていくのか。</p> <p>2. <u>自治会要望にどう応えていくのか</u> (市民部長・市長公室長・健康福祉部長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>市民からの声、要望については自治会要望や市長への提案などがあげられるが、これらの要望や提案をどのようにして実現していくのか。また、新たな意見集約や意見交換する場を作っていく必要はないか。</p>
7	渡辺 仁美	<p>1. <u>観光交流人口の増加及び可児コミュニティバス(さつきバス)の充実について</u> (観光経済部長・建設部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>本市の人口維持のため現住人口に加え交流人口ならびに活動人口の増加が鍵を握るのではないかと。既存の施設を中心に、必要な交通手段も考慮し豊かな自然と歴史を活かし観光交流人口の増加をいかに図ることができるか。</p>
8	板津 博之 (誠颯会)	<p>1. <u>障害者差別解消法施行に向けての取り組みは</u> (健康福祉部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>来年4月に障害者差別解消法が施行される。「住みごこち一番可児」を目指す本市としてもこの法律を有効に機能させ、差別解消に努める必要があるが、施行に向けてどのように取り組んでいくのか。</p>
9	高木 将延 (誠颯会)	<p>1. <u>子育て支援について、今後の方針を問う</u> (健康福祉部参事)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>子育て支援の基本理念に掲げる「マイナス10か月からつなぐ、まなぶ、かかわる子育て」への取り組みとして、妊婦さんへの対応も含め、今後の方針を問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
10	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. <u>可児市中小企業振興のために条例制定を</u> (観光経済部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>昨年6月の第186回国会で小規模企業振興基本法が成立し、市に小規模企業への支援が責務として明確化された。国の示す5カ年基本計画を受けて、市は小規模企業の振興に係る施策を作ることが求められている。</p> <p>2. <u>リニア中央新幹線建設問題と市の対応</u> (建設部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>リニア建設は、国の建設認可後、1年が経過するがまともに工事情報が開示されず、一方で変電施設の新設が暴露された。隠密裏に進められるリニア建設について、市の対応(地区住民・事業者JR)について尋ねる。</p>
11	天羽 良明 (誠颯会)	<p>1. <u>さあはじめよう、歴史資産のブラッシュアップ</u> (観光経済部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>魅力ある地域資源や歴史資産を有する地域をPRする方法として、NHK大河ドラマや映画がある。本市の美濃桃山陶と歴史上の戦国武将にスポットをあて1歩進もう。</p>
12	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p>1. <u>課題解決に向け独自アプリの無料配信の取り組みについて</u> (総務部長・市長公室長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>各自治体が直面する課題の解決に資する、独自のアプリを無料配信して情報や観光を提供している。本市の取り組みについて見解を問う。</p> <p>2. <u>高齢者肺炎球菌ワクチン接種の再通知について</u> (健康福祉部参事)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>高齢者の肺炎球菌予防接種対象者の接種漏れを防ぐために、再勧奨の取り組みができないか本市の見解を問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
13	山根 一男	<p>1. <u>生活困窮者自立支援制度における任意事業の展開状況について</u> (健康福祉部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>生活困窮者自立支援制度ではいくつかの任意事業が定められている。生活保護に至る可能性のある方に対して、その自立を促進する上で有効な施策であると考え、その実施状況や今後の展開方針について説明を求める。</p> <p>2. <u>選挙年齢 18 歳への引き下げに伴う主権者教育のあり方について</u> (選挙管理委員会書記長・教育長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>平成 28 年夏の参議院議員選挙から、選挙年齢が 18 歳以上に引き下げられる。主権者教育については、これまでも行われて来たが、不備も指摘される。小中学校も含めた主権者教育のあり方について問う。</p> <p>3. <u>投票率向上のための期日前投票所追加に関する検証は</u> (選挙管理委員会書記長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>帷子・桜ヶ丘と期日前投票所を 2ヶ所増やしてから 2 度の選挙が行われた。このことが投票率その他に及ぼした影響をコスト面も含めて検証していただきたい。その上で、今後の方向性を問う。</p>
14	田原 理香 (誠颯会)	<p>1. <u>地域に密着した課題解決型の「しごと」を創るための支援制度の構築を！！</u> (企画部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>多くの社会的課題が多様化深刻化している現在、行政が対応するには限界がある。ボランティアの努力だけでは継続かつ多様なニーズに対応できない。ここで、新たな担い手創出と仕組みを考えたい。市の見解は。</p> <p>2. <u>これからの連絡所のあり方について</u> (市民部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>各地区の連絡所は地域住民にとってなくてはならない大切な存在である。住民にとって市の顔＝連絡所といえる。住民の多用なニーズや問題点を把握できる市の現場であり今後も一層の充実が求められる。市の見解を。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。